

超 我 の 奉 仕
SERVICE ABOVE SELF

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大阪 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
 会 長/秋山 勤 幹 事/松尾康弘 会報委員長/掛谷建郎
 委 員/野田・倉内

姉妹クラブ: 台 北 西 北 区 扶 輪 社
 双子クラブ: インドネシア・チネレRC・ジョグジャカルタRC

No. 2 8 平成18年 2月15日

本 日 の 卓 話
 2 月 1 5 日 (水)
 「ロータリー創立記念日」
 橋本秀雄会員

出席報告

第2270回例会			前々回(第2268回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
31(8)	18	5	78.26%	4	82.61%

例会記録

第2270回例会 2月8日(水)小雨
 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 比嘉 悟様(H18 年度全国高校総合体育大会準備
 推進委員長)
 1月ホームクラブ皆出席 秋山、掛谷、久保
 倉内、松尾、長澤、中西、野田、朱



親睦委員会お客様紹介

会長の時間

秋山 勤会長

比嘉様、本日はお忙しい中を、卓話に来ていただき有難うございます。

2月は世界理解月間です。そして、23日はロータリーの創立記念日です。

101年前の2月23日たった4人で始められたロータリー活動は、いまや166カ国、32,198RC, 1,192,292人の大きな活動に発展しました。

RIの方針に従い、識字率向上と教育、水保全、貧困飢餓の克服と保健を重点に、多くの困難に直面しながらも我々に出来る奉仕を続けています。

23日の創立記念日頃になると、次年度準備の動きが具体的になってきます。

例年、創立記念日の前後にアメリカで国際協議会

が開かれてきました。ガバナーエレクトの研修会で

す。今年、2月16-23日サンデイエゴで開催され、岩田宙造GE(大阪南RC)ご夫妻が参加されます。

その後1か月以内に、地区委員会、クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)が開かれることになっています。

幹事報告

松尾康弘幹事

1、RI及び2660地区連絡事項

1)「RI会長賞」の申請申込書提出について
 4月3日必着

2)2006~07年度I-列-手帳お買い上げの案内

2、茨木市、他RCよりの依頼事項

1)茨木RAC上半期会計報告

- 2) 第 14 回阪大・地域団体がラテア留学生支援連絡協議会の案内 3 / 1 (水)13 : 30 ~ 17 : 00
於 : 阪大吹田キャンパス銀杏会館
- 3) 市・安慶市友好都市委員会の報告書、内海町姉妹都市委員会の報告書
- 4) 千里 RC より会報

委員会報告

親睦活動委員会 倉内貞敏会員

「ゴルフ同好会春のコンペ」の案内

日時 : 4 月 23 日 (日) 8 : 30 スタート (アウトコース)

場所 : 茨木カントリークラブ

4 組 16 名 (但し、オブザーバー 4 名含む)

先着順で受付させていただきますのでご了解下さい。

次期幹事報告 辰己克平次期幹事

次年度組織構成表をお配りしました。会員数が少ないため殆どの方が兼任となっておりますが、よろしくお願ひいたします。

卓 話

「大阪を元気にするスポーツイベント」

平成 18 年度全国高校総合体育大会

準備推進委員長 比嘉 悟氏

ただ今、紹介いただきました、平成 18 年度高校総準備局の業務推進室長の比嘉と申します。

本日は、朝比さまのご紹介で、皆様の会議の貴重な時間をいただきまして、平成 18 年度に大阪を中心に近畿ブロックで開催されて全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイについて簡単に説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。

では、具体的にインターハイの説明をさせていただきます。

リーフレットの中のポスターをご覧ください。

まず、愛称ですが、「06 総体 THE 近畿」に決まりました。(792 応募)

スローガンは(1064 応募)「君がひかり 近畿の空は 青くそまる」シンボルマークは、ポスターの右上に示しているとおりがわい図案で、作者の意図は、スローガンをイメージして、京阪神の水がめ「琵琶湖」から始まる、淀川の流れと夏の晴れた青い空を青い曲線で表現し、黄色で光、緑で若葉を表現しています。

以上の作品は、近畿の高校生が応募してくれました力作の作品でございます。

では、インターハイの概要を簡単に説明します。中をお開きください。

まず、1 の目的ですが、高校生にスポーツの実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、生徒の健全育成と、全国各地から集まる仲間との親睦を図るということです。

2 の主催は、財団法人全国高等学校体育連盟、開催地教育委員会などでございます。

3 の大会内容ですが、夏季大会は、28 競技が行われ、全国から役員、選手が、約 2 万人参加する、全国最大の高校生のイベントであります。また、応援は、友達、両親、親戚など、約 70 万人が、近畿に集まると予想しています。

余談ですが、宿泊は、ピークでは、一日に 2 万人、延べ 30 万泊の人が泊まります。このようなことをはじめ、飲食、お土産など、かなりの経済波及効果がございます。ちなみに、12 年度開催の岐阜県は 165 億、平成 13 年度の熊本県が 150 億、平成 15 年度開催の長崎県が 160 億となっております。阪神タイガースの 6000 億には負けますが、大阪府の経済界にとり、少しは明るい話題になると思います。また、会場市町村に、大会期間中、若い選手の熱気でムンムンすると思います。

4 の総合開会式は、平成 18 年の 8 月 1 日になみはやドームで行います。

演技は、淀川工業・工科高等学校の吹奏楽部、箕面自由高等学校のチアガールなど全国一の大阪府の代表の学校が演技をしてくれます。

300 日前イベントでも、淀川工業吹奏楽部の演奏には、参加した 700 名の方々も感激していました。

18 年度は、ぜひ皆さん、50 年に一度大阪で開催されるインターハイの総合開会式を見に来てください。一般公募で 2500 人を招待します。

5 の協賛ですが、別紙に協賛要項を入れさせていただきます。

2 枚目の第 4 条に協賛規模を記載していますが、金銭だけではなく、物品でも結構ですし、企業のパンフレットなどに、インターハイで宣伝をしていただき、事務局との協議で、30 万、50 万相当と認めたら、そのような方法でも協賛に値するということです。詳細については、事務局にお問い合わせください。

6 の入場料は無料です。

7 の開催予定都道府県ですが、原則的には、ブロック開催ですが、



平成 18 年度大阪、平成 19 年度佐賀県、平成 22 年度沖縄で一巡目が終わり、また、平成 23 年から二巡目のインターハイが始まります。

8 は、近畿ブックでの主会場での府県を示しています。

京都府だけは、知事の強い意向で単独開催になりました。

次ページに移ります。近畿地区を含めました競技会場を記載しています

さきほど、申しましたように、総合開会式は、8 月 1 日になみはやドームで行い、競技は、8 月 2 日から、8 月 12 日でいったん終わり、8 月 17 日から水泳競技が開催され、20 日で終了します。奈良県で行われる山岳競技が、8 月 21 日から 25 日の間に開催され、近畿でのすべての競技が終了します。

サッカーは、準決勝からナイターでやりたい意向を持っています。

なお、裏面には、なみはや国体のもっぴーキャラクターを使用し、会場の案内を示しています。

さて、手前みそですが、かれこれ、約 40 年前になりますが、私も高校時代にバスケットボール競技で、2 回、インターハイに行くことができました。

開会式のあの感激や試合での緊張感は、いまでも鮮明に心の中に焼きついていきますし、自分の人生を変えるきっかけになりました。

卒業後、体育大学に行き、昭和 48 年に府立高校の保健体育の教員となり、生徒とともに、インターハイに行くことを夢みて頑張り、昭和 58 年に大阪の府立高校で 13 年ぶりに優勝し、憧れのインターハイ指導者として、生徒に連れて行ってもらうことができました。

出場したことも喜びですが、苦しい練習を乗り越えて、養われた忍耐力や継続心などがその後の人生を生き抜く大きな原動力になりました。

また、皆さんがよくご存知の俳優の赤井秀和さんは、福島インターハイで、ボクシング競技で見事、優勝されています。資料 1 ページをご覧ください。

赤井さんのご好意により、優勝メダルのデザイン

に自筆で青春という文字を書いていただき、それに、大阪の伝統工芸をふんだんに取り入れ、メダルが出来上がる段取りになっています。過去にないメダルで選手の皆さんの一生の宝物になると思います。

また、皆さんが、よくご存知の卓球の愛ちゃんが、青森県の代表として、大阪のインターハイに出場する可能性もあります。

話は変わりますが、資料 2 ページをご覧ください。

大阪インターハイは、この資料のように、競技に直接出場ができなくても、日頃の部活動を通して、感じたスポーツの素晴らしい俳句や短歌で表現していただき、間接にインターハイに参加できるような仕組みも考えています。

このほか、総合開会式の競技のボランティアやなどで、多くの高校生が参加できるような役割も作っています。

最後になりましたが、皆さんのおもてなしの協力を得まして、大阪訪れた高校生を始め一般の方々が、もう一度、大阪に来てみたいというような、素晴らしいインターハイにできたらと思います。どうぞ、お力を貸してください。よろしくお願いします。

本日は、貴重な時間をいただきましてありがとうございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

ニ コ ニ コ 箱

ホームクラブ皆出席

秋山、掛谷、久保、倉内、長澤、中西、野田、朱比嘉様より卓話御礼をニコニコに頂きました

比嘉様有難うございました 秋山

比嘉様卓話有難うございました 中西

早退のお詫び 倉内、黒田

次年度の組織構成表が決まりました

ご協力よろしくお願い致します 辰己

写真を頂いて 山田

本日計 33,000円

累計 1,387,046円

次回卓話

「障害教育の動向および

地域と本校の連携について」

大阪府立茨木養護学校校長 宮西重久氏

